

観光地・鳥羽からはじめる

”New Normal” 予算

令和2年度鳥羽市一般会計補正予算第8号・9号

令和2年度鳥羽市一般会計補正予算第8号

鳥羽たびニューノーマルプロモーション事業

ワーケーション等推進事業 ほか14事業（特別会計含む）

令和2年度鳥羽市一般会計補正予算第9号

地域おこし企業人推進事業 ほか61事業（特別会計含む）

目的

令和2年度 一般会計補正予算(第8号)等の概要
P5 「観光振興推進事業」

**観光客等に携帯消毒用品を提供する等により、
感染拡大防止と観光地鳥羽を起点とした
After (With) コロナ時代の旅の促進を図る**

**三重県の事業と連動した施策を展開し
本市への誘客促進を図る**

**New Normal時代の
新しい旅の形を鳥羽から発信し、
全国の観光地に感染対策のアクションを広げる**

事業内容

事業費:800万円

事業を円滑かつ効果的に実施するため下記を鳥羽市観光協会に委託予定

1. ニューノーマルに対応した安心で楽しい旅の推進

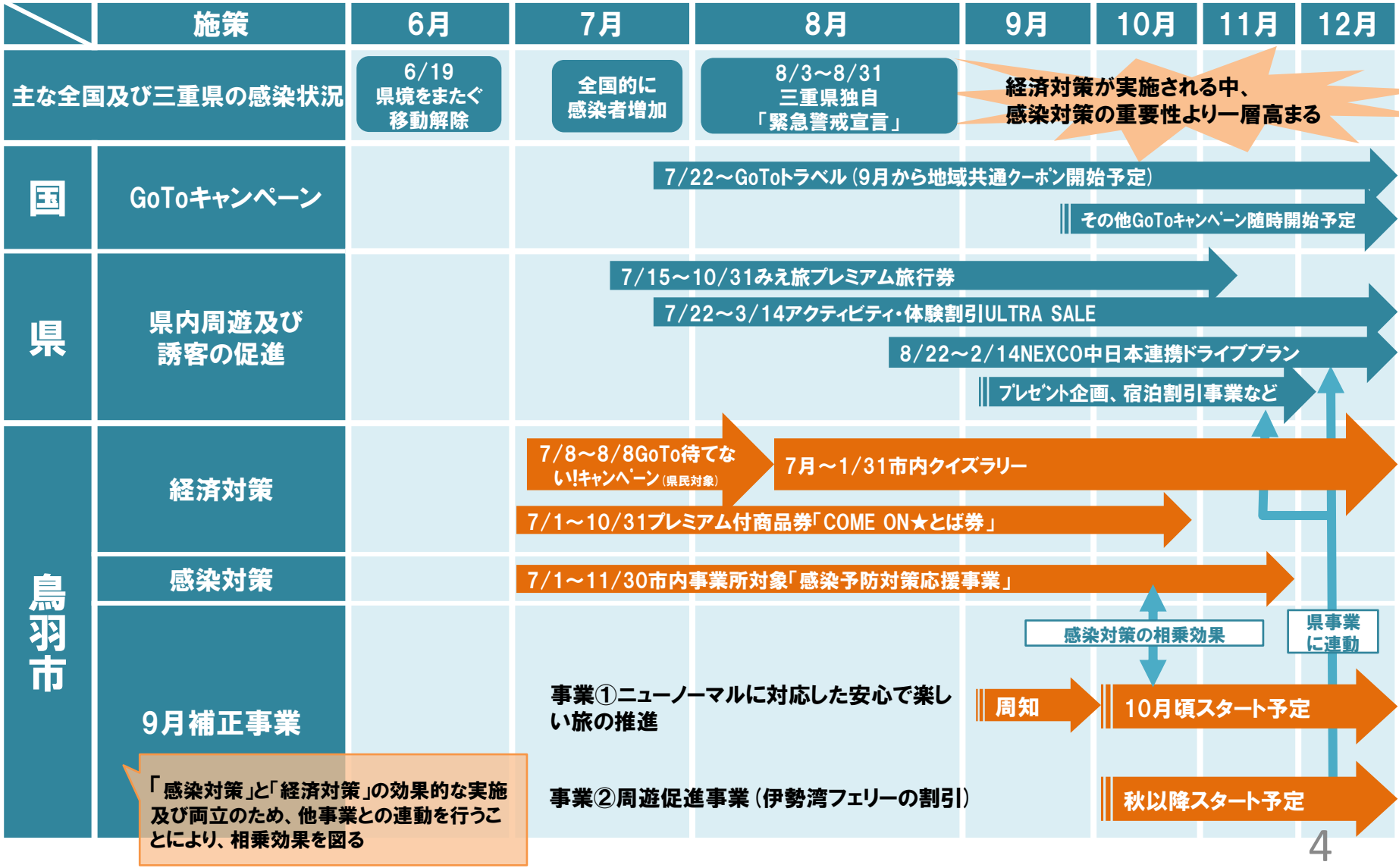
新しい生活様式に沿った旅の推進や旅行者へ協力依頼を行うため、
宿泊者への携帯消毒用品を配布をきっかけに

「新しい旅のエチケット(策定:旅行連絡会(協力:国土交通省・観光庁))」を啓発。
地域の率先した取組を通じて、**日本の安全・安心の旅につながることを目指します。**

2. 周遊促進事業(感染状況を見極めスタート予定)

鳥羽市への誘客を図るため、三重県が実施する周遊促進事業に連動し、
鳥羽ならではの海の導線である伊勢湾フェリー航路運賃の割引を行い、周遊を促進

【感染情報及び国・県・市の経済対策、感染対策】※現時点での想定のスケジュールのため、今後変更する可能性あり



1. ニューノーマルに対応した安心で楽しい旅の推進の狙い～(仮称)旅するスプレー～

【安全・安心】

観光客、市民、施設従業員
の健康、感染予防

【おもてなし】

ニューノーマルな
おもてなし
(感染対策の協力)

【情報発信】

鳥羽から積極的に
発信。全国の観光
地に感染対策のアク
ションを広げる



日本の「安全・安心で楽しい旅」の推進につなげたい!

目的

令和2年度 一般会計補正予算(第8号)等の概要
P4 「ふるさと鳥羽関係人口創出事業」

新しい生活様式に対応した働き方として
「ワーケーション」や「テレワーク」のニーズが高まっている

既存の宿泊施設や空き家等の整備に補助
受入環境を整えることで、
After (With) コロナの誘客コンテンツを準備

New Normal時代の
関係人口創出と観光産業の多角化を図る。

事業内容

事業費: 1,401.9万円

鳥羽市ワーケーション等推進構想に基づいて下記の事業を実施

- 1. ワークスペース整備補助(予算額: 13,000千円)**
市内の宿泊施設や空き家等を対象。
ワークスペースとして利用可能な**受入環境整備やプラン造成等について補助**
- 2. ニーズ調査およびプロモーション活動(予算額: 342千円)**
都市部に本社を置く企業や有識者のヒアリングなどによる**ニーズ調査**
「ワーケーションのまち鳥羽」のイメージ定着化に向けた**市内外へのプロモーション**
- 3. ワーケーション等選定委員会(予算額: 677千円)**
補助について**公平な選考**と、効果的な推進のための**助言指導**を受けるため
都市部に本社を置く企業や有識者等で構成した**選考委員会を設置**

ワークスペース整備補助

対象事業

ワーケーション等の受入環境整備に係る事業

(ネットワーク環境の整備、機器導入、長期滞在のための生活備品の設置や購入など)

プランの造成やPR活動に関する事業

(モニターツアー、都市圏企業へのセールス、宣伝媒体の制作、広報活動など)

対象者

- ① 宿泊事業者(民泊事業者・ゲストハウスなど含む)
- ② 空き家等の所有者
- ③ 地域団体・まちづくり団体・DMO法人等

鳥羽の強みである宿泊施設を活かしつつ、
多様なニーズの受入に対応できる地域を目指す

ワークスペース整備補助

補助率

①モデル事業所補助(定額補助・上限200万円・4事業所)

ワーケーション受入地域としてイメージ定着化を図るため、ワーケーションモデル事業所として、市と連携してワーケーション等の誘致受入に関する事業を行う

②一般事業所補助(1/2補助・上限50万円・10事業所)

モデル事業所の未選考事業所や小規模改修などの受け皿として設定。
より多くのワークスペースを整備することで、市全体の受入キャパシティを底上げする

ターゲティングや申請主体の独自性を重視した

企画提案を選定し、事業をより効果的に推進する

※9月7日頃から補助金応募開始予定

目的

令和2年度 一般会計補正予算(第9号)等の概要
P17 「地域おこし企業人推進事業」

民間企業の社員を ”地域おこし企業人”として市役所で受け入れる

民間企業のノウハウや知見を活かし 鳥羽市の課題解決や効果的な事業の推進を目指す。

※地域おこし企業人交流プログラム(総務省)

三大都市圏に所在する企業等の社員が、そのノウハウを活かし、一定期間、地方自治体において、地域独自の魅力や価値の向上、安心・安全につながる業務に従事する制度

事業概要

【派遣期間】 令和2年10月～令和3年3月(6か月間)

【事業費】 2,860千円(委託料:2,800千円、使用料及び賃借料:40千円、需用費:20千円)

パークリノベーション108プロジェクト

- ①パークリノベーション検討会への参加
- ②市民の医療費や介護保険料の抑制
- ③市民の健康増進、つながりの場づくり

中央公園の賑いづくり

・中央公園一帯を活用し、市民がスポーツや芸術活動等を行うことで、地域の活性化に繋がる新たな事業展開について検討する。

とばびと活躍プロジェクト

- ①とばびと活躍プロジェクト検討会議への参加
- ②アクションプランの深化

働き方の多様化に合わせた支援

・市民がいきいきと鳥羽で活躍するためのアクションプランを推進し、働き方・働く場所など既成概念にとらわれないアイデアを生み出し、とばびとが鳥羽で活躍できる幅を広げる。

生涯いきいき事業の推進

- ①市民の自発的な健康づくりの検討
- ②スポーツ・生涯学習活動の推進
- ③小中学校における情報推進(ICT教育)

多世代間の交流

・市民がウォーキングなどの健康づくりを自発的に行うような仕掛けづくりを検討する。

・学校現場においてICTに関する専門知識を持った人材が不足しているため、教員研修や児童生徒への指導・助言について検討する。

関係人口の創出事業の推進

- ①とばファンクラブの構築
- ②ふるさと納税の推進
- ③鳥羽みなとまつりの調整
- ④鳥羽市ワーケーション等推進構想

魅力あるまち市民の誇り

・鳥羽ファンクラブに入会による継続的な関係を築くことで関係人口の創出に繋げる。

・ふるさと納税の効果的なPR手法や魅力的な商品開発を検討する。
・令和3年開催の第66回鳥羽みなとまつりの賑いづくりについて検討する。
・ワーケーションやテレワークのニーズに対応する受け入れ環境整備を行い、関係人口創出と観光産業の多角化について検討する。